

一般質問

DX推進



基本的な考え方は

答弁 利便性の向上や効率化のため推進します

Q 当町のDX推進への基本的な考え方は。

A 政策推進課長 町民の利便性向上、行政事務の効率化のため、DX推進を図っているところです。今年度の取組は、紙によらず電子による調査・申請・届出手続きができる仕組みの導入を進めています。Web3.0(ウェブスリー)について、町の計画は。

A 政策推進課長 再整備を進めている道の駅で、Web3.0を活用したデジタル会員登録の導入を検討しています。

Q DXによるEBPMの取組は。



コンビニ交付サービスは身近なDX

道の駅



和紙での体験活動の充実を

答弁 幅広いメニューの構築に努めます

Q 手漉き和紙体験に加えて、和紙を使つての作品作り体験(ミニ障子・切り絵・絵手紙など)は。

A にぎわい創出課長 町内の魅力的な観光資源にどう誘導するかが、町の活性化には重要であると認識しています。スマートフォンでも確認できるモデルコース作成や道の駅からの電動自転車・電動トゥクトゥクの駐車場所の確保も検討しています。商店会などとも連携し、町全体のにぎわい向上を図りたいと考えています。

Q 団体利用への働きかけと、昼食のあつせんや和紙体験の実施は。



町活性化への期待が膨らむ

公共施設



管理計画の進捗と今後は

答弁 削減目標を58%に再設定しました

Q 当初の計画は30年間で町の施設等を40%削減するとあったが。

A 政策推進課長 平成27年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」では、人口減少や財政負担等を踏まえ、30年間で施設総量を40%削減するとしていました。個別施設計画や小中学校再編を踏まえても、公共施設の維持管理に年間2億9000万円の財源不足が生じる見込みです。そこで、削減目標を58%に再設定しました。

Q 再編等で空いた施設・跡地についての考えは。

A 政策推進課長 施設の状況により民間譲渡や除却を含め利活用について検討します。検討に当たっては、公共施設の全体の在り方や、地域住民の意向を踏まえ進めます。



「リリック大ホール」解体後の早期活用を

带状疱疹



ワクチン接種への助成を

答弁 可能性を研究していきます

Q 予防にはワクチン接種が有効であるとされているが、費用の高さなどから接種を諦める人も少なくない。当町でも、比企医師会から助成に関する要望書(令和4年10月)が提出されているが、考えは。

A 健康福祉課長 現在、任意接種である带状疱疹ワクチンに対する助成制度はありませんが、県内では助成を開始した自治体が増加傾向にあります。国の動向や近隣自治体の情報把握に努め、事業化の可能性を研究していきます。

Q 深谷寄居医師会の試算では、罹患した際の平均医療費と国保の保険者負担を考慮すると、早急に実施したほうが最終的に財政の節約につながると考えるが。

A 健康福祉課長 あくまでも国



带状疱疹発症リスクに負けない健康づくり



小川町議会だよりは

写真にコダワル!

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。

水分に加えて、毎日朝食で梅干しを食べます。
(G・Mさん 60代)



ぬれたタオルを室内に干し、エアコンの効果を高めています。
(M・Cさん 70代)



エアコンのフィルター掃除。同じ設定でも風量が増え、節電にもなって、一石二鳥。
(I・Hさん 62歳)



打ち水と風鈴です。夕方に打ち水をして、風鈴の音色は、心まで癒してくれますね。
(Y・Sさん 65歳)

